

盗撮映像提供容疑 2人逮捕

福岡県警 運営会社、買い取り配信か

沖縄県のサイト運営会社役員らがわいせつ映像を販売目的で保管したなどとして逮捕、起訴された事件で、福岡県警は19日、役員らに



人形の東玉

埼玉県さいたま市岩槻区本町3-2

Tel:048-756-1111 <http://www.tougyoku.com>

盗撮映像を売ったとしてコールセンターオペレーター山本雄一郎被告(34)(福岡市中央区)ら男2人をリベソシボルノ被害防止法違反(提供)容疑などで逮捕した、と発表した。県警は、役員らが盗撮映像を買い取り、有料サイトで配信していたとみている。

この事件では、サイトの実質的運営者でクレジット決済代行業森本憲(49)(沖縄県宜野湾市)、サイト運営会社役員山田政伸(36)(同県浦添市)両被告ら14

人が、わいせつ電磁的記録有償頒布目的保管罪などで起訴されている。

発表によると、山本被告は2014年10月、昨年8月頃、福岡市の商業施設のトイレで20歳代女性を盗撮し、同社に販売した疑い。映像の配信に気づいた女性と同7月に県警に相談。山本被告のほか、別の盗撮映像を売ったとして会社員岡崎洋志容疑者(27)(東京都中央区)も名誉毀損容疑で逮捕した。山田被告らは、盗撮サイトを含む五つ前後の動画配信サイトを運営。県警は、これらのサイトの売り上げが今年7月までの約2年半で約10億円に上るとみている。

警察庁によると、盗撮被害はスマートフォン普及などに伴って増加。昨年の都道府県の迷惑行為防止条例違反の盗撮行為での摘発件数は3625件で、この10年間で約3倍となった。

全国盗撮犯罪防止ネットワーク(和歌山市)の平松直哉代表は「記憶媒体の小型化でカメラの性能は格段に上がった。個人での対策は難しく、厳罰化などを検討すべきだと話している。

社会面に情報を

〒810-8581

読売新聞西部本社

FAX 092-715-5509

s-syaka@yomiuri.com

写真はこちらへ

s-photo@yomiuri.com